

名古屋市営交通事業経営計画（2015-2018）の実施状況に関する外部有識者意見について

名古屋市営交通事業経営計画（2015-2018）の実施状況について、計画策定時にご意見をいただいた外部有識者に説明するとともに、ご意見をお聴きしました。主なご意見は以下のとおりです。

- ・ 4年間の計画に対する進捗・成果は結構なことだと思う。
- ・ 従前は経営改善に重きが置かれていたが、経営状況がいい時に戦略的・効果的な投資をするとよい。
- ・ 乗客に対してだけでなく、職員に対する投資も必要である。
- ・ 駅ちかウォーキングの参加者が増えていて、乗車人員の増加策として非常に有効であると思う。
- ・ 資金不足が減少したことはよいことだが、経営状況がよければ、計画の途中でも、追加の計画を立てて、もう少し投資してもよかったと思う。
- ・ バス運転士の不足の問題が注目されている中、今いる職員に長く働いてもらうためにも、職員のモチベーション向上も重要だと思う。
- ・ どの事業者も、いろいろなデータが蓄積されているが、あまり活用されていないので、データの有効活用を考えてほしい。

(参考) 外部有識者一覧 (敬称略、令和元年8月現在)

| 氏名 | 役職等 |
|--------|--------------------------------------------|
| 青木 真美 | 同志社大学 商学部 商学科 教授 |
| 加藤 博和 | 名古屋大学大学院 環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター 教授 |
| 加藤 義人 | 岐阜大学 工学部 客員教授 |
| 神谷 紀子 | フィールド・ネクサスGROUP CEO税理士 名古屋大学法科大学院 非常勤講師 |
| 二村 真理子 | 東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科経済学専攻 教授 |